NN3003 ｼﾘｰｽﾞ アナログ回線 IP アダプタ 簡易設定マニュアル

1．準備

設置作業に必要な機器等を以下に示します。

<TELNET 使用時>

本装置の IP アドレス初期値は「192.168.1.1/24」です。
コンソール PC の IP アドレスを同一セグメントに設定して下さい。

① コンソール用 PC
② 汎用通信ターミナルソフト（Tera Tarm 等共通）
③ UTP ｸﾛｽｹｰﾌﾞﾙ（本装置直接接続）もしくは UTP ｽﾄﾚｰﾄｹｰﾌﾞﾙ(LAN-SW 経由)
④ プラスドライバ（Φ2.6mm）

<コンソール：シリアル I/F 使用時>

① コンソール用 PC（9 ピンシリアルコネクタが必要）
② シリアルインタフェースケーブル（オプション）

コンソール用 PC と本装置との接続／汎用通信ターミナルソフトの設定は、取扱説明書「5.1 コンソールの接続」（P24）、「5.1.2 シリアル接続での通信設定」（P24）を参照してください。

2．IP アドレス設定

IP アドレス設定はシステムコンソールより設定します。
以下に、本装置の IP アドレス設定の例を示します。

NN3003（自装置）		NN3003（対向装置）	
local ipaddress	192.168.1.1	local ipaddress	192.168.1.3
netmask	255.255.255.0	netmask	255.255.255.0
gateway	192.168.1.254	gateway	192.168.1.254
local udp-port	60001	local udp-port	60001
peer ipaddress	192.168.1.3	peer ipaddress	192.168.1.1
peer udp-port	60001	peer udp-port	60001

設定が終了したら、通信開始コマンド、保存コマンドを実行する
set transmission enable ；注）デフォルト状態は“disable”通信停止となっています。
save config ；設定内容を保存します。

＞デフォルト設定（転送モード）：初期値は互換モードです。低遅延モード転送は変更が必要です

自 IP アドレス（local ipaddress）、自ポート番号（local udp-port）、ネットマスク（netmask）、デフォルトゲートウェイ（gateway）は、接続する IP ネットワークに合わせて設定してください。

通信相手を識別する対向アドレス（peer ipaddress）と対向ポート番号（peer udp-port）は、それぞれ対向装置となる NN3003 に合わせて設定してください。
※：対向でクロス設定となります。

設定コマンドの詳細は、取扱説明書「5.1.4 ログイン」(P25)、「第８章　コマンドリファレンス」（P55）を参照してください。

３．イーサネットインタフェース設定

IP インタフェース設定はシステムコンソールより設定します。
以下に、本装置の IP インタフェース設定の例を示します。

【IP ネットワーク機器が、” Auto Negotiation “の場合】
port autonegotiation　　enable

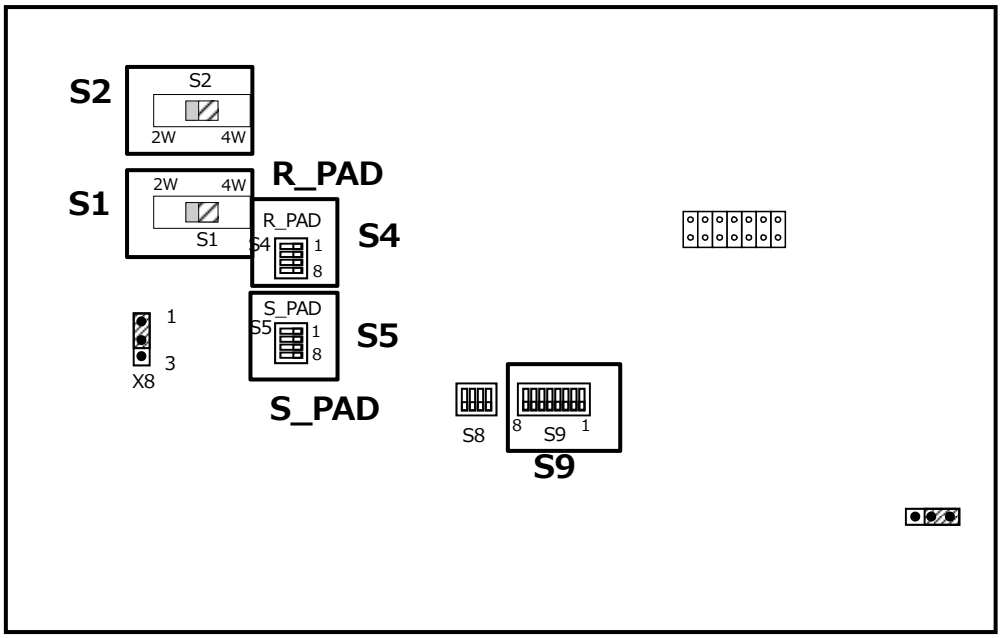
【IP ネットワーク機器が、”100Mbit/s“の場合】
port autonegotiation　　disable
port speed　　100M

【IP ネットワーク機器が、“10Mbit/s”の場合】
port autonegotiation　　disable
port speed　　10M

設定コマンドの詳細は、取扱説明書「第８章 コマンドリファレンス」（P55）、「8.2 コマンドの詳細」（P80、81）を参照してください。

４．アナログインタフェース設定／受信バッファ切り替え設定

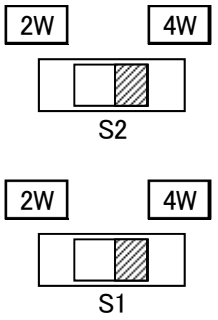
プラスドライバにて装置カバーの止めネジ（6 個）を外して、カバーを開けます。パッケージ上に実装されているディップスイッチ、スライドスイッチで設定します。



1）2W／4W 回線設定（S1,S2）

端末インタフェースでは 2W/4W 回線の切り替え設定ができます。出荷時設定は 4W 回線です。
詳細は取扱説明書 「4.4 (1) 2W/4W 回線種別の設定」（P18）を参照してください。

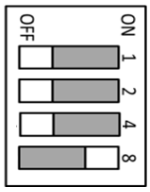
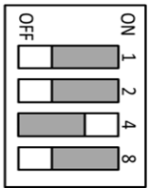
表 4-1　4W/2W 回線種別の設定

機能	スライドスイッチ／ショートピン	備　考	3.3.1 項 各部の機能参照
4W/2W 回線	4W ： 4 線式回線 4W 側に設定 2W ： 2 線式回線 2W 側に設定 ［注］S1 と S2 は同一に設定してください。	出荷時設定 4W 回線	

2）レベルダイヤ設定（S_PAD／R_PAD）

送受信信号を各々0dB～15dB／1dB ステップで可変することができるアッテネータがあります。
アナログ信号のレベル調整が必要な場合は設定を変更してください。

・S_PAD：端末装置が送信するレベルに対する設定用アッテネータ
・R_PAD：端末装置が受信するレベルに対する設定用アッテネータ

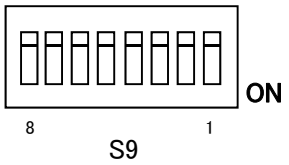
アッテネータ設定		S_PAD	R_PAD
All off	0dB	出荷設定：8dB	出荷設定：4dB
1-ON	1dB		
2-ON	2dB		
4-ON	4dB		
8-ON	8dB	S5	S4

工場出荷設定の 4W 回線では送信：0dBr、受信：0dBr、2W 回線では送信：0dBr
受信：-4dBr となるように設定してあります。

インタフェース (回線)	S_PAD (S5)	R_PAD (S4)	レベルダイヤ	
			送信	受信
4W 回線	8dB	4dB	0dBr	0dBr
2W 回線	0dB	0dB	0dBr	-4dBr

3）揺らぎ吸収バッファ設定（S9）

表 4-5　揺らぎ吸収バッファ設定（互換モード）

機能	ディップスイッチ					備　考	3.3.1 項 各部の機能参照
揺らぎ吸収 バッファ設定 1	揺らぎ吸収バッファ量					出荷時設定 5ms	
	スイッチ No.						
	4	3	2	1	[ms]		
	0	0	0	0	5ms		
	0	0	0	1	10ms		
	⋮				⋮		
	1	1	1	0	75ms		
	1	1	1	1	80ms		
	スイッチ No.5～8 は メーカ調整用です。 変更しないでください。				—		

ディップスイッチ設定は 1:ON、0:OFF を示す

ネットワーク側のゆらぎが大きい場合は、受信バッファ時間を大きくすることで安定した通信が可能になりますが、伝送遅延も大きくなります。

注.
低遅延モードの場合は「4.4　端末インタフェースの設定」（5）揺らぎ吸収バッファ設定　表 4-6 揺らぎ吸収バッファ設定（低遅延モード）(P20)を参照願います。

［表示サンプル］

・IP インタフェース設定 10Mb/s の例
6W-IPADP> set port autonegotiation disable
6W-IPADP> set port speed 10M

・自装置通信設定
6W-IPADP> set transmission local ipaddress　192.168.1.1
6W-IPADP> set transmission netmask　255.255.255.0
6W-IPADP> set transmission local udp-port　50001

6W-IPADP> set transmission peer ipaddress　192.168.1.3
6W-IPADP> set transmission peer udp-port　50001

・通信の開始設定
6W-IPADP> set transmission　enable

［データ転送接続モード］
データ転送接続モードには２種類あります。
接続するアナログ設備に応じて設定願います。
●互換モード（mesh）：NN6001A、EN303C と対向接続時に使用します。
（低遅延通信を必要としない場合）
工場出荷時設定“互換モード”

●低遅延モード（low-delay）：同期型アナログ通信設備（モデム）等、低遅延通信が必要な場合に設定します。

5．端末装置接続

端末装置と本装置の接続は、以下を参考に接続してください。

【データ：4W 回線の場合】

・端末装置（モデム等）：送信(T)／(R) → 4WS(T)／4WS(R)：NN3003

・端末装置（モデム等）：受信(T)／(R) ← 4WR(T)／4WR(R)：NN3003

【データ：2W 回線の場合】

・端末装置：(T)／(R) ⟷ 2W(T)／2W(R)：NN3003

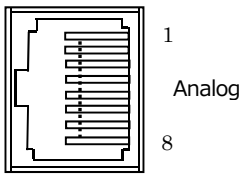
【シグナリング送信／受信】

・端末装置：シグナリング送信(SS) → SS：NN3003

・端末装置：シグナリング送信(SR) ← SR：NN3003

【アナログ端末機器ポート（4W/2W）】

表 3-7 アナログ端末ポートピンアサイン

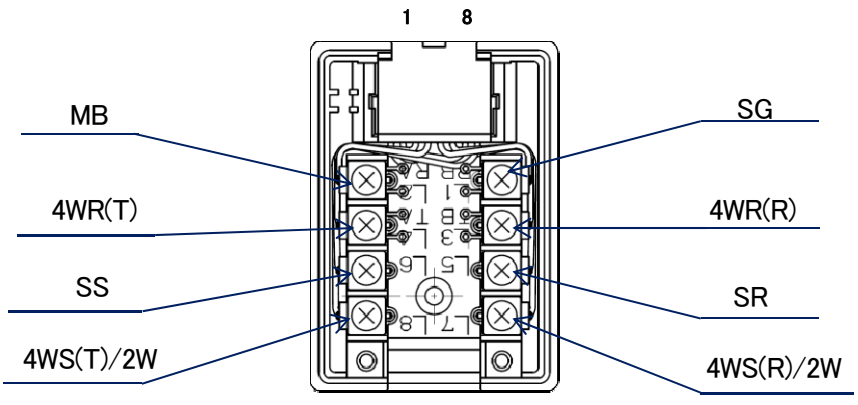


ピン番号	機　能	線色(UTP)
1	4WS/2W(T)：送信データ（T）	ミドシロ
2	4WS/2W(R)：送信データ（R）	ミド
3	4WR(T)：受信データ（T）	ダイシロ
4	MB：警報接点出力	アオ
5	SG：信号グラウンド	アオシロ
6	4WR(R)：受信データ（R）	ダイ
7	SS：送信シグナリング	トビシロ
8	SR：受信シグナリング	トビ

詳細は、取扱説明書「3.4.1 各種ポートおよびコネクタピンアサイン」（２）音声端末機器ポート（4W/2W）（P12）を参照してください。

注意．アナログ I/F ケーブルは付属されません、RJ-45 ケーブルを必要に応じて準備願います。

・UTP（ストレート）ケーブルをアナログポートに接続し、MJ-8S を使用した場合



MJ-8S(内部)